

法学部・夜間主コースカリキュラムマップ



：全学共通科目

：経済学部開設科目

その他：法学部開設科目

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

(夜間主コース)

①言語運用能力

全学共通科目のコミュニケーション科目により、基礎となる外国語能力向上を図ります。

学部開設科目では、法学・政治学に必要なコミュニケーション能力の向上を図るため、「大学入門ゼミ」および「演習」によって専門分野における言語運用能力の習得を図ります。一部の少人数教育では、社会問題に基づいた解決策を考える、法学的な PBL (Problem Based Learning) を行っています。

②知識・理解 (21 世紀型市民及び学士 (法学) として)

全学共通科目では、幅広い知識を身につけます。主に学問基礎科目の履修によって、法学・政治学以外の分野にも幅広い知識を持ちます。

学部開設科目では、法学の基礎的知識の習得のため、法学入門を学びます。さらに、公法系科目 (憲法、行政法系科目)、私法系科目 (民法、商法系科目)、政治系科目を学び、専門的知識の習得、専門的応用力を養います。

③問題解決・課題探求能力

法学部では、問題解決、課題探求の力を養うために、少人数教育を取り入れています。特に、「大学入門ゼミ」では、様々な社会事象に対して考察を加えるための法学・政治学的なアプローチの方法を学んでいきます。

法学・政治学は、すべて社会に存在する実際的问题を解決する学問です。法学・政治学を学ぶことは、全体として、問題解決・課題探求能力の向上に役立ちます。中でも特に、「刑事訴訟法」「民事訴訟法」のいわゆる訴訟法系科目は、問題解決の手続きそのものであり、専門的な問題解決について学ぶこととなります。

また、「法哲学」「法思想史」のいわゆる基礎法科目は、法の基礎となっている考え方、法が昔から抱えている問題などを学べ、課題探求能力の養成に役立ちます。

④倫理観・社会的責任

法は、最低限の倫理であり、法学を学ぶことは、全体として、倫理観・社会的責任の涵養に役立ちます。特に、法の本質・目的・理念を考察する「法哲学」の履修によって、倫理観・社会的責任の大切さ・重要さを学びます。

⑤地域理解

全学共通科目の主題 B「現代課題の諸課題」で地域の問題の基礎を学びます。さらに、PBL を行う一部の「演習」によって、地域における法の実践について学んでいきます。